



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 小津産業株式会社

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 範三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	18,053	△0.9	327	—	340	—	222	—
23年5月期第2四半期	18,217	△10.1	△84	—	△73	—	△268	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 247百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △282百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	26.62	—
23年5月期第2四半期	△32.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	18,598	10,735	57.7
23年5月期	18,404	10,572	57.4

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 10,735百万円 23年5月期 10,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	—	—	10.00	10.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.6	420	—	460	—	300	—	35.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月10日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年5月期2Q	8,435,225 株	23年5月期	8,435,225 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	69,920 株	23年5月期	69,824 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年5月期2Q	8,365,363 株	23年5月期2Q	8,365,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により停滞を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化とともに、生産活動も持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の債務問題や米国の景気減速等による世界景気の低迷懸念の高まりのほか、歴史的な円高やタイの洪水被害による各種産業への影響など、国内の景気全体の先行きへの不透明感も一層強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）といたしましては、引き続き市場ニーズに迅速に対応した高付加価値商品の提供を推進し、新製品の開発やグローバルな視点での新規市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は180億53百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益は3億40百万円（前年同期は73百万円の経常損失）、四半期純利益は2億22百万円（前年同期は2億68百万円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

【不織布事業】

国内につきましては、光学関連・医療機器関連向けが比較的好調であったものの、東日本大震災の影響による国内産業の稼働率低下に伴う不織布製品の需要の落ち込みや、印刷業界・出版業界における洋紙の需要低迷などにより、売上高は低調に推移しました。海外につきましては、光学機器メーカーやエレクトロニクス産業向けが堅調な滑り出しを見せたものの、タイの洪水被害の影響によるアジア諸国での生産の停滞のほか、世界的な景気停滞の影響により各種産業の稼働も鈍く、原料価格高騰に伴う販売価格の上昇や円高の影響もあり、苦戦を強いられました。しかし、国内・海外ともに販売費が減少したこともあり、営業利益は増益となりました。

また、連結子会社の日本プラントシーダー(株)が担うアグリ分野では、福島第一原子力発電所の事故に伴う風評被害等による近隣地域での作付け減少の影響はあったものの、北東北、北海道地方および九州地方においては好調であり、海外向けも含めて総じて堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は55億61百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は3億58百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

【家庭紙・日用雑貨事業】

連結子会社のアズフィット(株)が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、トイレットペーパーやティシュペーパー等の家庭紙の価格が持ち直しの兆しを見せたものの、東日本大震災以降の消費の低迷や夏場の需要落ち込みもあり、売上高は低調に推移しました。また、物流センター統廃合等の効率化による販売費の削減も進んでおり、多額の商品評価損を計上した前年同期に比べ大幅に収益改善したものの、依然として厳しい収益状況となりました。これらの結果、売上高は124億56百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失は13百万円（前年同期は3億62百万円のセグメント損失）となりました。

【その他の事業】

その他の事業につきましては、賃貸不動産のテナント減少等により、売上高は35百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。

なお、屋内型水耕栽培設備による野菜の生産・販売を行う「日本橋やさい」事業につきましては、平成23年9月をもって工場の稼働を停止いたしました。

注) 連結子会社の日本プラントシーダー(株)およびアズフィット(株)の決算期は2月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の平成23年3月から同年8月の実績が反映されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億94百万円増加し、185億98百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加3億55百万円、「商品及び製品」の減少1億11百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて30百万円増加し、78億63百万円となりました。主な要因は、「短期借入金」の増加70百万円、「賞与引当金」の減少25百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億63百万円増加し、107億35百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加1億39百万円であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー増加額が3億75百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー減少額が8百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー減少額が31百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の残高は前連結会計年度末に比べ3億19百万円増加し34億99百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億75百万円（前年同期は2億75百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、「税金等調整前四半期純利益」3億85百万円、「たな卸資産の増減額」1億47百万円、「減価償却費」1億29百万円であり、支出の主なものは、「売上債権の増減額」3億55百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8百万円（前年同期比2億76百万円減）となりました。収入の主なものは、「保険積立金の払戻による収入」54百万円であり、支出の主なものは、「有形固定資産の取得による支出」48百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は31百万円（前年同期比20百万円減）となりました。収入の主なものは、「短期借入金の純増減額」70百万円であり、支出の主なものは、「配当金の支払額」83百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年7月15日公表の数値より修正を行っております。詳細は、本日平成24年1月10日公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321,095	3,618,692
受取手形及び売掛金	5,843,410	6,198,692
有価証券	101,951	101,991
商品及び製品	1,169,480	1,057,964
原材料	241,649	205,453
繰延税金資産	75,825	64,952
その他	731,463	527,692
貸倒引当金	△7,094	△6,961
流動資産合計	11,477,782	11,768,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,418,864	5,441,941
減価償却累計額	△3,091,303	△3,161,023
建物及び構築物(純額)	2,327,561	2,280,918
機械装置及び運搬具	384,724	393,291
減価償却累計額	△324,759	△334,139
機械装置及び運搬具(純額)	59,964	59,152
土地	1,760,344	1,736,444
リース資産	3,450	3,450
減価償却累計額	△1,437	△1,782
リース資産(純額)	2,012	1,667
その他	141,737	145,412
減価償却累計額	△112,367	△113,133
その他(純額)	29,370	32,278
有形固定資産合計	4,179,253	4,110,461
無形固定資産		
のれん	154,391	132,335
リース資産	48,160	36,485
その他	121,655	106,256
無形固定資産合計	324,206	275,077
投資その他の資産		
投資有価証券	1,723,466	1,787,997
長期貸付金	34,616	35,264
繰延税金資産	21,481	21,776
その他	672,596	621,551
貸倒引当金	△28,516	△21,607
投資その他の資産合計	2,423,644	2,444,981
固定資産合計	6,927,105	6,830,520
資産合計	18,404,887	18,598,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,729,564	3,728,774
短期借入金	900,000	970,000
1年内返済予定の長期借入金	605,989	600,620
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
リース債務	24,548	24,812
未払法人税等	75,155	117,984
賞与引当金	48,865	23,467
役員賞与引当金	1,520	—
その他	621,169	574,424
流動負債合計	6,506,812	6,540,083
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	27,341	14,869
繰延税金負債	237,725	255,466
退職給付引当金	71,976	71,457
役員退職慰労引当金	83,420	88,745
その他	55,223	42,580
固定負債合計	1,325,687	1,323,119
負債合計	7,832,500	7,863,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	7,691,036	7,830,079
自己株式	△82,200	△82,303
株主資本合計	10,306,017	10,444,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266,369	290,837
その他の包括利益累計額合計	266,369	290,837
純資産合計	10,572,387	10,735,795
負債純資産合計	18,404,887	18,598,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	18,217,164	18,053,303
売上原価	15,351,743	15,077,234
売上総利益	2,865,420	2,976,068
販売費及び一般管理費	2,950,272	2,648,453
営業利益又は営業損失(△)	△84,852	327,614
営業外収益		
受取利息	1,662	1,343
受取配当金	30,528	20,411
仕入割引	13,081	20,544
持分法による投資利益	2,054	—
その他	10,609	18,921
営業外収益合計	57,937	61,220
営業外費用		
支払利息	21,899	18,500
売上割引	1,491	1,415
為替差損	19,649	19,827
持分法による投資損失	—	39
その他	3,063	8,915
営業外費用合計	46,103	48,698
経常利益又は経常損失(△)	△73,019	340,137
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,896	—
保険戻戻金	12,150	27,462
受取保険金	—	33,542
固定資産売却益	55	130
その他	—	1,191
特別利益合計	15,102	62,327
特別損失		
固定資産除却損	—	156
投資有価証券評価損	13,365	12,387
事業構造改善費用	56,637	—
退職給付制度改定損	32,277	—
災害による損失	—	3,359
その他	750	741
特別損失合計	103,029	16,644
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△160,946	385,819
法人税、住民税及び事業税	78,801	153,236
法人税等調整額	28,937	9,886
法人税等合計	107,739	163,122
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△268,686	222,697
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△268,686	222,697

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△268,686	222,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,614	24,467
その他の包括利益合計	△13,614	24,467
四半期包括利益	△282,300	247,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282,300	247,164
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△160,946	385,819
減価償却費	116,674	129,139
のれん償却額	22,055	22,055
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	707	△7,042
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,636	△25,397
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,600	△1,520
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△55,013	△519
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△71,400	5,325
受取利息及び受取配当金	△32,191	△21,755
支払利息	21,899	18,500
為替差損益 (△は益)	15,053	16,524
持分法による投資損益 (△は益)	△2,054	39
保険返戻金	△12,150	△27,462
有形固定資産売却損益 (△は益)	△55	△130
有形固定資産除却損	—	156
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,365	12,387
事業構造改善費用	56,637	—
受取保険金	—	△33,542
災害損失	—	3,359
売上債権の増減額 (△は増加)	227,949	△355,282
たな卸資産の増減額 (△は増加)	297,792	147,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	△422,319	△789
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△29,754	32,931
その他の資産の増減額 (△は増加)	59,196	219,363
その他の負債の増減額 (△は減少)	△166,444	△66,116
その他	△4,018	1,808
小計	△104,979	455,564
利息及び配当金の受取額	32,127	21,713
利息の支払額	△25,743	△18,494
保険金の受取額	—	33,542
災害損失の支払額	△51,571	△5,330
法人税等の支払額	△125,570	△111,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	△275,738	375,030

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△279,879	△48,019
有形固定資産の売却による収入	55	24,030
有形固定資産の除却による支出	—	△49
無形固定資産の取得による支出	△18,186	△7,901
投資有価証券の取得による支出	△8,548	△34,073
投資有価証券の売却による収入	—	17
貸付けによる支出	—	△4,800
貸付金の回収による収入	2,461	5,183
定期預金の預入による支出	△5,250	—
定期預金の払戻による収入	—	21,500
保険積立金の積立による支出	△39,815	△2,246
保険積立金の払戻による収入	65,606	54,313
長期前払費用の取得による支出	△250	—
その他	△500	△16,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,305	△8,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000	70,000
長期借入金の返済による支出	△15,391	△5,369
自己株式の取得による支出	△113	△103
配当金の支払額	△83,756	△83,515
リース債務の返済による支出	△11,951	△12,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,212	△31,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,053	△16,524
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△626,309	319,134
現金及び現金同等物の期首残高	3,903,591	3,180,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,277,281	3,499,607

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,882,735	12,291,237	18,173,972	43,191	18,217,164	—	18,217,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	46,800	7,131	53,932	78,357	132,289	△132,289	—
計	5,929,535	12,298,369	18,227,905	121,548	18,349,453	△132,289	18,217,164
セグメント利益又は損失(△)	303,866	△362,569	△58,703	△8,612	△67,316	△17,536	△84,852

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額17,536千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「家庭紙・日用雑貨」セグメントにおいて、連結子会社アズフィット株式会社の物流センターの統廃合に伴い、処分を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,843千円であり、特別損失の事業構造改善費用として計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,561,761	12,456,261	18,018,023	35,279	18,053,303	—	18,053,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,831	5,151	23,983	71,369	95,353	△95,353	—
計	5,580,593	12,461,413	18,042,007	106,648	18,148,656	△95,353	18,053,303
セグメント利益又は損失(△)	358,803	△13,980	344,823	914	345,738	△18,123	327,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額18,123千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。